

# 福山市の商業(平成19年商業統計調査結果)

年間商品販売額1兆5,325億1,294万円(対前回は5.7%増)

## ◇結果の概要

平成19年6月1日現在で実施された商業統計調査結果によると、福山市の商店数は5,905店、従業者数は43,352人、年間商品販売額は1兆5,325億1,294万円で、前回調査(平成16年)に比べて、商店数は562店減(対前回は8.7%減)、従業者数は1,871人減(同4.1%減)、年間商品販売額は、820億7,584万円増(同5.7%増)となった。(表1)

[表1] 平成19年福山市の商業統計調査結果と対前回は

(単位:店、人、万円、%)

区分		平成16年	平成19年	対前増減率
商店数	総数	6,467	5,905	-8.7
	卸売業	1,653	1,508	-8.8
	小売業	4,814	4,397	-8.7
従業者数	総数	45,391	43,520	-4.1
	卸売業	15,111	14,350	-5.0
	小売業	30,280	29,170	-3.7
年間商品販売額	総数	145,043,710	153,251,294	5.7
	卸売業	93,682,388	99,145,073	5.8
	小売業	51,361,322	54,106,221	5.3

・平成19年6月現在の市域を対象とした数値で記載

## 卸売業

### 〔商店数〕

卸売業の商店数は1,508店で、前回と比べると、145店減(8.8%減)となった。(表1)各種商品卸売業で20.0%減少と6業種すべての業種でも減少した。

構成比で見ると、金属材料等卸売業が24.2%(365店)で最も大きく、次いで機械器具卸売業23.0%(347店)、その他の卸売業22.2%(335店)の順となり、これらの3業種で全体の約7割を占めている。(表2)

### 〔従業者数〕

従業者数は14,350人で前回と比べると761人減(5.0%減)となった。

(表1)建築材料、鉱物・金属材料等卸売業で0.2%増加し、各種商品卸売業で38.9%減少したなど5業種が減少した。

構成比で見ると、最も大きいのは機械器具卸売業が22.4%(3,212人)で、次いで飲食料品卸売業21.3%(3,063人)、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業21.2%(3,037人)の順となり、

全体の約6割を占めている。(表2)

### 〔年間商品販売額〕

年間商品販売額は9,914億5,073万円で、前回と比べると546億2,685万円増(5.8%増)となった。(表1)構成比で見ると、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が25.6%(2,535億3,328万円)と最も大きく、次いで機械器具卸売業20.9%(2,073億9,175万円)、その他の卸売業20.6%(2,047億2,568万円)の順となり、これらの3業種で全体の約7割を占めている。(表2)

## 小売業

### 〔商店数〕

商店数は4,397店で、前回と比べると417店減(8.7%減)となった。

(表1)飲食料品小売業で14.9%減少など5業種が減少し、各種商品小売業は、前回と同じとなった。

構成比で見ると、その他の小売業が36.1%(1,587店)、次いで飲食料品小売業26.3%(1,157店)、織物・衣服・身の回り品小売業15.3%(672店)の順となり、

[表2] 平成19年卸売業・小売業産業分類中分類別商店数・従業者数・年間商品販売額

(単位:店、人、万円、%)

産業分類(中分類)	商店数			従業者数			年間商品販売額		
	実数	構成比	対前増減率	実数	構成比	対前増減率	実数	構成比	対前増減率
卸売業	1,508	100.0	-8.8	14,350	100.0	-5.0	99,145,073	100.0	5.8
各種商品卸売業	8	0.5	-20.0	77	0.5	-38.9	502,861	0.5	
繊維・衣服等卸売業	179	11.9	-18.3	2,236	15.6	-14.6	12,734,217	12.8	
飲食料品卸売業	274	18.2	-7.1	3,063	21.3	-6.0	19,342,924	19.5	
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	365	24.2	-4.9	3,037	21.2	0.2	25,353,328	25.6	
機械器具卸売業	347	23.0	-10.3	3,212	22.4	-3.1	20,739,175	20.9	
その他の卸売業	335	22.2	-6.4	2,725	19.0	-1.4	20,472,568	20.6	
小売業	4,397	100.0	-8.7	29,170	100.0	-3.7	54,106,221	100.0	5.3
各種商品小売業	19	0.4	0.0	1,544	5.3	-2.5	5,402,343	10.0	-9.0
織物・衣服・身の回り品小売業	672	15.3	-12.6	2,614	9.0	-11.5	3,986,197	7.4	3.9
飲食料品小売業	1,157	26.3	-14.9	10,680	36.6	-6.2	15,184,799	28.1	-3.0
自動車・自転車小売業	462	10.5	-1.9	2,692	9.2	-2.2	6,999,436	12.9	-5.0
家具・じゅう器・機械器具小売業	500	11.4	-4.6	2,296	7.9	-4.8	5,298,913	9.8	8.5
その他の小売業	1,587	36.1	-5.1	9,344	32.0	1.7	17,234,533	31.9	25.9

沼隈・神辺町が集計できないため、未記入

店)で、これらの3業種で全体の約8割を占めている。(表2)

〔従業者数〕

従業者数は29,170人で、前回と比べると1,110人減(3.7%減)となった。(表1)その他の小売業で1.7%増加となり、織物・衣服・身の回り品小売業11.5%減少したなど5業種が減少した。構成比で見ると、最も大きいのは飲食料品小売業が36.6%(10,680人)で、次いでその他の小売業32.0%(9,344人)の順となり、この2業種で全体の約7割を占めている。(表2)

〔年間商品販売額〕

年間商品販売額は5,410億6,221万円で、前回と比べると274億4,899万円増(5.3%増)となった。(表1)その他の小売業25.9%増加など3業種で増加し、各種商品小売業9.0%減したなど3業種が減少した。

構成比で見ると、その他の小売業が31.9%(1,723億4,533万円)と最も大きく、次いで飲食料品小売業28.1%(1,518億4,799万円)、自動車・自転車小売業12.9%(699億9,436万円)の順となり、これらの3業種で全体の7割を占めている。(表2)

〔業態別〕

業態別をみると、前回と比べ、「専門スーパー(衣料品・食料品・住関連)」、「コンビニエンスストア」、「ドラッグストア」が、大きな伸びを示している。(表3)

〔表3〕平成19年小売業業態別の商店数・従業者数・年間商品販売額・売場面積 (単位：店、人、万円、㎡、%)

	商店数		従業者数		年間商品販売額		売場面積	
	実数	対前回増減率	実数	対前回増減率	実数	対前回増減率	実数	対前回増減率
小売業計	4,397	-8.7	29,170	-3.7	54,106,221	5.3	642,735	-0.2
百貨店	1	0.0	445	-6.1	x	x	x	x
総合スーパー	6	0.0	1,002	1.0	2,589,973	-7.6	69,980	31.5
専門スーパー(衣料品・食料品・住関連)	172	16.2	5,246	9.3	10,595,073	11.5	189,268	18.1
コンビニエンスストア	150	18.1	1,995	28.8	2,354,866	15.9	16,108	19.2
ドラッグストア	64	18.5	517	34.3	1,250,609	22.3	23,284	28.9
その他のスーパー	195	-18.4	1,112	-19.0	1,312,138	-35.2	28,516	-31.7
専門店(衣料品・食料品・住関連)	2,662	-6.3	13,025	-5.7	19,513,537	5.0	200,232	-0.7
中心店(衣料品・食料品・住関連)	1,138	-18.0	5,774	-15.7	13,802,180	11.1	86,886	-30.7
その他の小売店	9	0.0	54	12.5	x	x	x	x

〔資料1〕福山市の商業の推移

(単位：店、㎡、人、万円)

	商店数			小売業の売場面積	従業者数			年間商品販売額		
	総数	卸売業	小売業		総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業
平成6年	7,667	2,023	5,644	642,718	47,044	18,791	28,253	183,249,182	127,762,405	55,486,777
9年	7,107	1,783	5,324	588,409	45,796	17,542	28,254	173,550,874	115,299,427	58,251,447
11年	7,327	1,919	5,408	610,339	50,406	18,647	31,759	171,147,397	117,346,850	53,800,547
14年	6,664	1,662	5,002	592,999	46,961	15,738	31,223	141,177,224	91,189,016	49,988,208
16年	6,467	1,653	4,814	644,149	45,391	15,111	30,280	145,043,710	93,682,388	51,361,322
19年	5,905	1,508	4,397	642,735	43,520	14,350	29,170	153,251,294	99,145,073	54,106,221

・平成6年～19年は広島県「商業統計調査結果報告」による。

・平成19年6月現在の市域を対象とした数値で記載

商業統計調査の概要

国の指定統計として、全国の卸売業および、小売業の事業所を調査し、商業の実態を明らかにすることを目的に、統計法および、これに基づく商業統計調査規則によって実施している調査。  
1997年以降は5年毎に本調査が実施され、その中間年(本調査の2年後)に簡易調査が実施される。  
調査の期日  
平成19年(2007年)6月1日現在。

用語の説明

(1)商店：原則として、一定の場所(一画)を占めて商品を購入して販売する事業所をいい、一般的に卸売業、小売業といわれる事業所。  
(2)従業者：調査日現在で、主としてその事業所の業務に従事している者で、従業者とは「個人業主」、「無給の家族従業者」、「法人及び団体の「有給役員」、「常用雇用者」、「正社員・正職員」、「パート・アルバイト等」の計をいう。

(3)年間商品販売額：平成18年4月1日から平成19年3月31日までの1年間のその事業所における商品の販売額をいい、消費税額を含む。  
(4)売場面積(小売業のみ)：事業所が商品を販売するために実際に使用している売場の延床面積をいう。ただし、牛乳小売業、自動車小売業、建具小売業、畳小売業、ガソリンスタンド及び新聞小売業並びに訪問販売、通信・カタログ販売等で売場面積のない事業所については調査を行っていない。

〔資料〕広島県「平成19年商業統計調査結果報告」  
福山市「平成19年商業統計調査結果報告」